



3月乳児部だより

平成30年3月26日発行 洗足池保育園

暖かい春の日差しを受けて、元気に遊ぶ子ども達。進級への期待も膨らみ、4月が待ち遠しいですね。

一年間を通して子ども達の大きな成長が感じられ、そして、保護者の皆様と喜びを共有していく事が出来、嬉しく思っております。一年間、ありがとうございました。

3/3 おゆうぎ会

ふたば組は、ゆうぎ『あーいーうー』を行いました。大勢の人の前で少し緊張してしまう様子も見られましたが、泣かずに舞台に立ち、保護者の方の顔が見えると、嬉しそうに手を振る姿も見られました。また、ネコやリスになりきって体を動かしたり、「あーいーうーえーおー！」と、元気良く掛け声を掛けたりして、楽しく踊っていました。おゆうぎ会後も、子ども達から「あーいーうーしたい！」という声がたくさん聞かれ、お部屋で踊っています。

みつば組は、『へんしんだンス！』を踊りました。最初は、曲があまり好みでなかったようで「他の体操が良い」と言っていた子ども達。しかし、ふたば組と遊戯の見せ合いっこをした日から曲を気に入って、楽しんで踊るようになりました。当日も緊張しながらも、様々な動物に変身しながら楽しんで踊っていましたよ。

劇遊びでは、『げんきな体をつくろう！』を行いました。役になりきり、セリフを言ったり踊ったりする子ども達。舞台に立ち、大勢の観客がいる中、堂々と演じる姿を見て成長を感じました。

おゆうぎ会が終わり、子ども達が一番楽しかったのは職員劇だったようで、ももたろうごっこを楽しんでいます。また、『さくらんぼ』の曲が流れると皆で鏡の前に立ち、にゃんこスターの真似をしたり、『ダンシングヒーロー』では、配役紹介をしたりして、盛り上がっています。

楽しいおゆうぎ会となり、嬉しく思っております。保護者の皆様にはご協力頂き、ありがとうございました。



ふたば組

最近、友達との関わりが増えてきたふたば組。友達と一緒に遊ぶのが楽しいと感じたり、友達の遊びに興味を持ち、一緒にしたいと思ったりする様子が見られます。先生と一緒にかくれんぼなどの簡単な集団遊びをしたり、ごっこ遊びも少しずつ楽しんだりするようになってきました。

特に、最近ふたば組で盛り上がっているのは『オオカミごっこ』です。先生がオオカミになりきって「ガオ〜！」と言うと「キャ〜！」と、嬉しそうに逃げていく子ども達！一緒に逃げている先生が「よし！ここに隠れよう！」と言うと、みんな「シーだね！」と言って口に手を当て、静かに隠れている姿がとても可愛らしいです。オオカミ役の先生が「トントントン、開けておくれ！」と、声を掛けると、「いいよ！」と言う子や、「いや！だめ！」と、首を横に振って怖がったりする子もいます。また、急にオオカミ役になり、先生の真似をして「ガオ〜！」と、友達を驚かせて遊ぶ姿も見られます。

これからも友達との関わりを楽しみながら遊べるよう、子ども達と様々な遊びをしていきたいと思います。一年間、ありがとうございました。



みつば組

数字に興味を持っているみつば組の子ども達。♪数字の1は、なにに？♪と誰かが数字の歌を口ずさむと、声を揃えて、♪工場の煙突！♪と歌いながら数字を覚えています。また、最近では玩具の貸し借りの際も「長い針が6になったら交換してね」と、約束を決めて遊んでいます。

先日、時計製作を行いました。保育者が数字の3のシールを間違えた場所に貼ろうとすると「違うよ、3は2の隣だよ！」と教えてくれたり、数字の歌に合わせて覚えている子は、「数字の3は赤ちゃんのお耳なんだよね！」と教えてくれたりしました。

製作が始まると、時計をじっと見つめながら慎重にシールを貼る子や、友達や保育者に教えてもらいながら貼る子がいました。完成し、しばらく時計の針を動かして遊ぶと、保育室に掛かっている時計を見て、針を同じ場所に合わせ「これって何時なの？」と聞く姿がありました。また、自分で好きな位置に針を動かし、保育者に「これって何時だ？」とクイズ形式にし、時間を聞く子もいましたよ！

これからも子どもたちの興味を持った事に着目し、遊びや生活に多く取り入れていきたいと思います。一年間ありがとうございました。

テーマへの取り組み

ふたば組

今月は、一年間で自分の体がどれだけ大きくなったかを知るという目的を持って取り組みました。

まず、Tシャツ製作をしました。画用紙で作ったTシャツに、端切れをボンドで貼りました。「ブーブー（車）の！」「オレンジのにする！」等と、自分で好きなハギレの模様や色を選びながら作る姿が見られました。出来上がったTシャツに春頃の顔写真を組み合わせ、4月の子ども達の身長に合わせた体を作りました。作品を壁に貼ると「〇〇ちゃんの！」と、すぐに自分の顔を見つけ指を差したり、隣に並んで身長を比べたりする姿が見られました。送迎時、作品を見て「こんなに大きくなったんですね！」と、嬉しそうに話をされる保護者の方もいらっしゃいました。



作品と今の子ども達を見比べると、成長の様子が見られ大きくなったなという実感が湧きました。一年間、様々な遊びを通して自分の体について知っていく事が出来たことを嬉しく思います。

みつば組

今月は、人間と猿の違いや同じ所を探しながら皆で一つの猿を作りました。保育者に、人間と猿の同じ所は何か聞かれると、「手」「足」「耳」と答える子ども達。違う所を聞かれると、「んー、口！」と答えていました。また、足の指の数は一緒か聞かれると、「一緒だよ」と言い、数を数えると違う事を発見！何度数え直しても4本しかない事に気が付くと「4本しかないんだね、違ったね」と、友達と話していました。また、猿は体に毛が生えているけれど、皆には生えているか質問すると、自分や友達の腕を見て「生えてないよ」と笑っていましたが、人間も薄い毛が生えていることを知ると、衝撃を受けていました。

製作では、グループに分かれて顔や体を作ると「お猿さんは、茶色いんだよね」や「毛の部分は毛糸がいいかな？」と友達と考えながら、様々な素材を手に取り楽しんで作っていましたよ。

完成すると「可愛いお猿さんが出来たね！」と、大満足の子ども達でした。



3月生まれのお友達



K. N くん（2歳）

お誕生日おめでとう！！

4月のうた

- ・せんせいとおともだち
- ・チューリップ
- ・ちょうちょ

